

2014年10月17日

【アピタルがん夜間学校】
もっと知ってほしいがんと脱毛・皮膚のこと
アンケート結果及びご寄付の報告

2014年10月15日（水）秋葉原UDXシアターにて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。105名の方にお申し込み頂き、当日は67名の方が参加され、うち、43名の方からご意見を頂きました。（回収率64.2%）。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。

当セミナーにて参加者の方々から頂きましたご寄付は8,500円です。頂きましたご寄付はCNJのがん啓発活動などを運営する資金に充てさせて頂きます。皆様のサポートに心から感謝いたします。ありがとうございます。

（1）今回のセミナーはどのような媒体でお知りになりましたか？

① CNJのホームページ（ブログ）などのイベント告知	32.6%
② キャンサーチャンネルのイベント告知	14.0%
③ UDXオープンカレッジのイベント告知	7.0%
④ 朝日新聞・アピタルの告知	4.7%
⑤ Twitter facebook等のSNS(RT,シェアを含む)	9.3%
⑥ CNJ以外の患者会・支援団体からのお知らせ	0.0%
⑦ 友人・知人に誘われて	18.6%
⑧ 新聞・雑誌などマスメディアの告知	0.0%
⑨ 病院でのポスター告知など	7.0%
⑩ その他（以前から参加・検索・メールなど）	9.3%
無記入	0.0%

（2）あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者（治療開始前）	0.0%
（通院治療中）	11.6%
（治療後フォロー中5年以内）	7.0%
（治療後5年以上経過）	2.3%
（無記入）	4.7%
② 患者の家族・友人	23.3%

③ 医療関係者（医師）	0.0%
（看護師）	9.3%
（薬剤師）	4.7%
（その他）	9.3%
（無記入）	4.7%
④ 製薬・医療機器・メディア関係	11.6%
⑤ その他（一般勉強したい・学生）	9.3%
無記入	2.3%

（3）プログラムに関するご感想を教えてください。

■ 基調講演①：山崎 直也先生「もっと知ってほしい がんと脱毛・皮膚のこと」

① 大変参考になった	62.8%
② 参考になった	25.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	2.3%
無記入	9.3%

■ Q&A トークセッション

① 大変参考になった	32.6%
② 参考になった	27.9%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	39.5%

（4）治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 医療者（医師・看護師・薬剤師など）	29	67.4%
② 書籍	23	53.5%
③ インターネット	32	74.4%
④ 同じ病気の患者	7	16.3%
⑤ がん患者会	6	14.0%
⑥ 患者団体・患者支援団体	5	11.6%
⑦ 病院の相談窓口	10	23.3%
⑧ NPO などの相談窓口	3	7.0%
⑨ その他（講座・講演）	2	4.7%
無記入	3	7.0%

（5）インターネットで情報を収集する際、どんなことに気をつけていますか？

(複数回答可)

① 誰が書いているか、明示されている	34	79.1%
② 情報の出典が明記されている	21	48.8%
③ 情報の更新日が明記されている	17	39.5%
④ 情報発信の目的(営利・非営利)が明確にされている	13	30.2%
⑤ その他	1	2.3%
無記入	3	7.0%

(6) 治療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか?患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか?(複数回答可)

① 施設情報(病院など)	21	48.8%
② 医師情報(専門医など)	20	46.5%
③ 治療法の情報	31	72.1%
④ 薬剤に関する情報	13	30.2%
⑤ 治療以外(心の問題など)の相談窓口	8	18.6%
⑥ 医療費に関する情報	11	25.6%
⑦ 同じ病気の体験談	9	20.9%
⑧ その他(費用)	1	2.3%
無記入	5	11.6%

(7) がん対策を進める上で、どの領域がもっと重要だと思いますか?

① がんの予防の推進	37.2%
② がんの検診の推進	23.3%
③ がん治療(研究)の推進	39.5%
④ 治療後の社会的支援	27.9%
⑤ その他	0.0%
無記入	7.0%

(8) がん治療をよくする上で、患者(患者会・支援団体)の役割は重要だと思いますか?

① 強く思う	46.5%
② 思う	39.5%
③ 思わない	0.0%
④ どちらとも言えない	7.0%
無記入	7.0%

(9) もっとも、キャンサーネットジャパンに期待する活動は何ですか?

① がん患者(家族)向けセミナー・イベントなど	44.2%
② がん患者(家族)向け教育プログラムなど	20.9%

③ がん患者（家族）を含めた一般の人へのがん疾患啓発事業	30.2%
④ 体験者同士のピアサポートプログラムなど	9.3%
⑤ がん医療政策提言などのロビー活動	9.3%
無記入	9.3%

～今回のセミナーで新たに得られた情報はありますか？～

【患者】

通院治療中

- ・放射線での皮膚炎に関して。
- ・皮膚傷害の恐ろしさを軽く考えていた。今後充分注意していきたい。

治療後フォロー中 5年以内

- ・皮膚症状が出た際の治療法とスキンケアの大切さ。休薬の大切さ。

治療後 5年以上経過

- ・分子標的薬の皮膚疾患は薬疹じゃない。治療効果と相関があるということ。

無記入

- ・分子標的薬の副作用。

【患者の家族・友人】

- ・スキンケアが大事。
- ・保湿と薬を上手に使う。清潔に保つ。患者が普段通り生活して治療すること。
- ・スキンケアの重要性について、改めて理解しました。
- ・爪のケアの方法。非常に参考になりました。

【医療従事者】

看護師

- ・分子標的薬の種類により皮膚障害の出現時期、症状が違うということ。
- ・新しい情報はありませんでしたがより詳しく説明されていたので良かったです。

薬剤師

- ・これまでがん患者さんの皮診について、あまり考えたことがなかった。治療効果と皮診の発症率に相関関係があることに驚いた。お化粧品はしても良いというのは、患者様にとっても励みになると思う。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- ・皮膚障害予防のためのスキンケア法。

【その他】

- 副作用の怖さ。
- 皮膚専門医が少ないという現実。

～もっと知りたい情報は何か？～

【患者】

通院治療中

- 転移に関して。

無記入

- 今後の脂肪肉腫の治療。

【患者の家族・友人】

- 検査のこと。
- 転移性のがんについて。
- がんになった時、まず初めに何を考えればよいのか。何の情報を得れば良いのか。正しく判断するにはどうすればよいのか。治療法の選択について。
- 皮膚がんの最先端治療法。
- 皮膚がん、特に悪性黒色腫について。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- 脱毛の話をもっと知りたいです。対処法などの例題の情報も含めて。
- 抗がん剤治療後、髪は再髪しますが、以前と比べて髪質が変わったとよく伺います。細くなったり、くせ毛になるとの声を聞くのですが、それに対する対策を知りたいと思っています。

【その他】

- 免疫細胞治療について。超高濃度ビタミンCの効力について（更に予防効果は）。
- がん治療の支持療法。
- 「治療に伴う身体症状の苦痛」の項目に患者さんが、どういう感情（怒り、不安、悲しみ、恐怖など）を強く抱いているかも（だまされたと思って）データとしてとって欲しい。というのは、副作用には個人差があると思うのだが、免疫とか遺伝的なこともそうだが、感情面がどれくらい影響しているか知りたいから。手足症候群が80%の人に生じる薬とか、症状が出ない、2割の人の特徴を調べることで、いろんなことがわかると思います。（←こういう人の思考パターンや感情面を調べて欲しい。）つまり症状が出てる人だけでなく、出てない人もいろいろ調べる（生活習慣とか）ことで、症状を出にくくする方法が、もう少しわかってくる気がします。

～その他、セミナーに参加してのご感想・ご意見等～

【患者】

治療後フォロー中5年以内

- とても有用なセミナーで、来て良かったと本当に思いました。どうもありがとうございました。今後も期待しています。
- こうした内容の濃いセミナーが無料で聴講できるのは大変ありがたいです。

無記入

- 夜間学校とても参考となります。ありがとうございます。

【患者の家族・友人】

- 毎回、一般人にもわかりやすく説明して下さる。田村さん、小林さんが間で聞いてくださるので助かります。質問コーナーは勉強になります。チーム医療とは患者も含めてというお話は嬉しく感じました。
- とても勉強になりました。
- 「もっと知ってほしい皮膚がんのこと」の再開を希望します。
- 知りたい事がわからない中で、大変に勉強になりました。

【医療関係者】

看護師

- 山崎先生の患者さん目線の治療方針、情報提供に感動いたしました。放射線皮膚炎に関する研修、セミナーをひらいていただくと幸いです。これからもっともっと必要となる皮膚障害に対応できる医療者のひとりとして、私ももっと勉強してまいります。とても勉強になりました。ありがとうございます。
- スライドのプリントが欲しいです。

その他

- CNJのセミナーは何度か参加していますが、このアピタル夜間学校は初めての参加でした。職場にも近く仕事帰りに気軽に来られて、また今回は皮膚や脱毛のことが聞けて大変勉強になりました。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- 質問事項に対してはセミナー中の解答のみならず、解答しきれなかったものに対するフォロー（高頻度のものはweb上で掲載するなど）を検討いただきたい。

【その他】

- スライドがぼやけていたところがあった。

- とても勉強になりました。
- 東洋医学では、皮膚の問題は「悲しい」という感情と関係しています。強い悲しみは皮膚の問題を引き起こすという考えです。その逆もしかりと思います。皮膚の症状が出て、「悲しい」という感情を抱くと、より一層皮膚の問題がひどくなる気がします。こういう点では相関関係がとれたら、感情面でのケアがしやすくなるのでは？と思います。